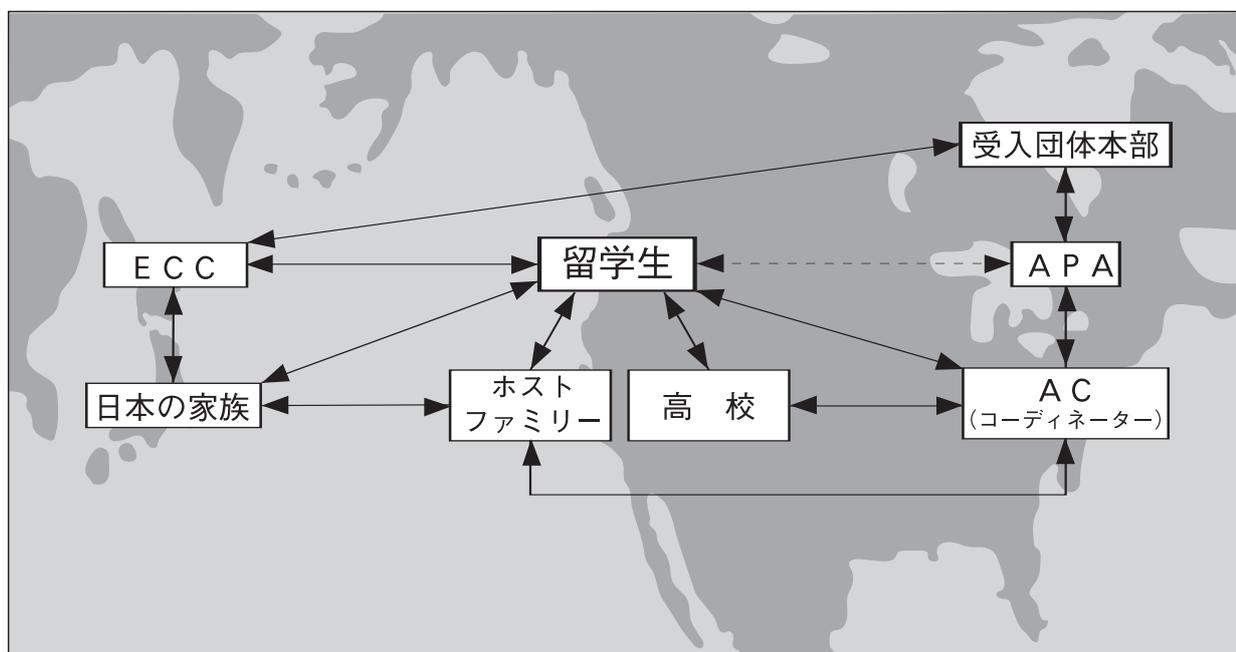


トラブル対処法

皆さんは留学中、言葉の壁や生活習慣の違いから、さまざまな問題に遭遇することでしょう。問題は、早い時期に適切な処置で解決することが肝要です。そのためには、どのように対処すれば良いのか、しっかり理解しておきましょう。



◆ステップ 1 問題を分析する

問題が発生したら、まず何が原因なのか、どこに問題があるのかを「自分で冷静に」考えてみて下さい。感情的になったり、憶測したり、自己中心的に考えるために問題が大きくなっていることがあります。頭の中を整理するために、問題点を書き出してみると良いでしょう。

もう一度、このプログラムの趣旨を振り返り、また事前学習で学んだことを思い出し、「自分は何のために留学しているのか」「自分のすべきことはしっかりと行っているか」「自分に非はなかったか」「相手の立場に立って見たか」などを考えてみて下さい。自分の立場を客観的に見つめ直すことで、解決できる問題も数多くあります。

◆ステップ 2 相談する

【ホストファミリーとの間で問題が起きた場合】

家庭内の問題は、基本的にホストファミリーと話し合って解決します。最初にコーディネーターに相談すると、間接的にホストファミリーに話が伝わり、気まづくなる場合があります。

冷静に問題を分析した後、ホストファミリーとの話し合いが必要であると判断したら、勇気を奮って切り出してみましょう。但し、自分の要求ばかり主張したり、また問題点を正確に伝えなかったりすれば、問題の解決になりません。意見を述べる前には、もう一度、「客観的に見てその主張が正当であるか」「相手に納得してもらえる根拠があるか」を考えてみて下さい。別の観点から見ると、間違っていることがあるかもしれません。相手の立場を尊重し、主張する点と譲歩する点をしっかり見極めましょう。

もし、ホストファミリーとの話し合いで解決に至らなければ、AC (Academic Coordinator=コーディネーター) に相談して下さい。その際、できるだけ客観的に、起きたことを伝えましょう。冷静さを欠いた言動は、信用を失うことになります。あくまでも分別のある態度で相談して下さい。

万が一、ACが不在の場合や、ACとの話し合いで解決できない時は、各地域を統括しているAPA (Academic Program Administrator) に相談して下さい。

【学校で問題が起きた場合】

授業、課外活動、友達のことなど学校の問題全般については、各授業の先生や担当のcounselorに相談しましょう。また、ホストファミリー、ACもよきアドバイザーになってくれるでしょう。

◆ステップ 3 ECC へ連絡する

上述のいずれの方法でも問題が解決できない場合は、文書にて詳細をECCへ報告して下さい。皆さんが問題をスムーズに解決できるよう、ECCより適切なアドバイスをします。また、必要に応じて、受入団体本部へ調査を依頼し、解決策を相談します。但し、プログラムの規定により、ECCはACやAPA、ホストファミリー、受入高校との直接交渉は行いません。

いずれにしても、周囲の人は助言を与えることができるだけで、実際に問題を解決できるのは当事者のみです。皆さんの自立心、柔軟性、適応力が問われます。前向きにものごとを捉え、積極的な態度で問題解決に取り組みましょう。ホームステイ先や学校で行き詰まった時、冷静に判断せず、すぐに日本の保護者に連絡する留学生がいます。留学生本人は、問題点として伝えているつもりでも、保護者に対しては、どうしても甘えが出て主観的に話すため、単なる不平、不満となり、客観的な事実が伝わりません。保護者には現地の状況がわからないため、どう対処して良いかわからず、心配をかけることとなります。必ず、前述のような方法で問題の解決に当たって下さい。

◆留学生が原因で起こるトラブルの例

●ホームステイ先でのトラブル

- ・ 家族とコミュニケーションを十分にとらない。
- ・ 家族と行動を共にせず、自分の部屋に閉じこもりがちである。
- ・ 自分に割り当てられた手伝いをしない。
- ・ ホストファミリー宅のルールを守らない。
- ・ ホストファミリーへの要望が多い。
- ・ ホストブラザー/シスターとうまくいかない。
- ・ ホストファミリー宅でのコンピューターの使用時間が長い。

●学校でのトラブル

- ・ 欠席や遅刻が多い、宿題をして行かない、発言をしないなど、勉強への意欲がない。
- ・ 授業についてゆけない。
- ・ クラブ活動などの課外活動や学校行事に参加せず、現地の生徒と交流をもととしない。
- ・ クラブ活動に熱中し、勉強がおろそかになる。
- ・ 友達ができない。悪い友達とつきあう。
- ・ 先生やカウンセラーの指示に従わない。

●留学生生活全般に関するトラブル

- ・ 常に多額の現金を持っている。現地の高校生に比べお小遣いが多すぎる。お金の貸し借りをする。
- ・ 高価なものや珍しいものを持っている。
- ・ 田舎の生活に不満を持つ。
- ・ 生活全般に対して物質的不満を持つ。
- ・ Coordinatorやホストファミリーに対して礼儀を欠いた言動をとる。
- ・ 日本の保護者や友人に頻繁に電話をかける。また、夜遅くに電話を使用する。
- ・ 日本人の留学生と頻繁に連絡を取る。
- ・ 自分の悪い点を顧みず、相手の非ばかりを指摘する。
- ・ プログラムの規則、また、それに違反した時のagreementやcontractの重要性を理解していない。